

今季 初もん続々

身の置き所のないほどの夏の高気温と秋のはじめの長雨で、栽培する側も育てられる側もその対応に四苦八苦しした。

今秋多くのキンモクセイが二度花をつけたように、クロエダマメも最初に付けた花は長雨でボロボロと落ちて二度目の花を付けた。結球レタスは本来高原野菜ゆえに高気温で順調に苗が育たず、何とか育っても結球することなく春先のように臺立ちする株も見られた。このことについて野菜たちは、やれ異常気象だ、やれ地球温暖化だと声高に言うことはない。環境に順応して自分の生理に合わせたただけのことで、その結果出来具合がたまたま人間には不都合であったに過ぎない。けれども野菜たちのこのような姿は、これらのことを雄弁に語っているようにも思えた。

うれしいことに首尾よく育ったものも多く、初めて栽培に挑戦した作物も無事に収穫することができた。今季の初もんを手にする喜びは何物にも代えがたいものがある。

● 製品にしたヒョウタンを初出荷 10/13



*お酒は別

● ラッカセイ収穫 10/15



● 早生キャベツ初収穫・初出荷 10/15



● 結球レタス初収穫・初出荷 10/15



● 日野菜カブ、栽培初挑戦、初収穫 10/22



● 臺立ちした結球レタス 10/15

